

令和5年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立池上小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・造形活動への意欲、関心は概ね高く、楽しんで造形活動に取り組むことができた。
- ・はさみやカッター、金槌、のこぎり、彫刻刀などの道具を、安全に留意しながら活用し、基礎的な技能の習得が図れた。
- ・参考作品の提示をすることで、活動に対する意欲を高めることができた。
- ・自分や友達作品に対して、良さや面白さを感じたり見付けたりすることができた。

(2) 課題

- ・より作品の完成度を高めようとする意欲をもつことが苦手な児童がいる。
- ・できた形から発想し、表すことが苦手な児童がいる。
- ・道具の使い方や片づけ方が不十分なことがある。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・作品例を見せ、実演を交えながら、手順や材料・用具の扱い方をしっかり把握させてから活動に入る。 ・個別指導を丁寧に行い、児童の実態に応じて一緒に作業をすることで、具体的な表現の仕方や材料の扱い方を指導する。	・自分が試したいことを表現できるよう、身近な材料などを用いて作品作りに取り組むよう題材を設定する。 ・<u>作業の実演や、意欲を喚起する素材や技法を示し、選択したり参考にしたりできるようにする。</u> ・<u>友達同士で作品を鑑賞し合う場を設定し、作品のよさに気付かせる。</u> ・形や感触からどのようなことを発想したのか、自分の考えを伝え合い、お互い参考にできるようにする。	・生活の中などから児童に身近な題材を選び、児童の実態に合った素材や表現方法を吟味する。 ・<u>目標達成への期待やよりよい作品作りへの意欲をもたせる見本や作品例を示す。</u> ・作業の実演や作品鑑賞の際に <u>ICT 機器を用いる。</u>

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ <u>実演を交えて指導をしていく</u>ことで、具体的な表現の仕方や材料の扱い方を指導する。 ・ 技術を習得する時間を十分に確保し、道具の使い方の<u>基礎基本が身に付くように、机間指導を通して、個別指導を行う。</u>	・ 自分が表現したいことに合わせて技法の試行錯誤ができるような題材を設定する。 ・ <u>作業の実演や、意欲を喚起する素材や技法を適宜示し</u>、制作の見通しをもたせるようにする。 ・ 題材の予定時数を掲示し、計画的に作品づくりに取り組ませるようにする。 ・ 友達同士で作品を鑑賞し合い、それを発表する活動を取り入れる。	・ 児童の実態に合った素材や道具、表現方法を吟味する。 ・ 目標達成への期待をもたせる見本や作品例を示す。 ・ 作業の実演や作品鑑賞の際に <u>ICT 機器を用いる。</u> ・ 片付けの習慣を定着させるため、毎回片付け時間を確保し、全員で片付けに取り組ませる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 多様な素材に触れ、用途に合った道具や材料を自ら選んで使う経験をさせる。 ・ <u>実演を交えて指導をしていく</u>ことで、具体的な表現の仕方や材料の扱い方を指導する。 ・ <u>机間指導</u>を通して、一人一人の<u>表現したいことや児童の実態に合った道具や材料の扱い方を指導する。</u>	・ 試したいことに挑戦し、今まで学習した表現方法や材料、道具などを組み合わせて、試行錯誤しながら表現を工夫できる題材を設定する。 ・ 題材の予定時数を掲示し、計画的に作品づくりに取り組ませるようにする。 ・ 友達と<u>作品を見合う活動の中で、様々な表現方法や工夫に気付く</u>ことができるようにする。 ・ どのように良いと思ったのかなど、<u>より作品の良さを</u><u>感じ取れるような声かけ</u>をしていく。	・ 児童の実態に合った素材や道具、表現方法を吟味する。 ・ 目標達成への期待をもたせる見本や作品例を示す。 ・ 作業の実演や作品鑑賞の際に <u>ICT 機器を用いる。</u> ・ 片付けの習慣を定着させるため、毎回片付け時間を確保し、全員で片付けに取り組ませる。